



フィリピンにはバラングイと称する最小自治単位がある。

そのバラングイでは、毎年一回、バラングイ・デーというお祭り、いわゆるフェスタが開催される。

事務所への通勤途上の道路に、昨日まではなかった光景が突如として現れた。

一面に原色ののぼり、そして色とりどりのデコレーションの帯が道路沿いの頭上に延々と施され、金色や銀色のテープは風に揺れ光を放ち、まぶしく輝く。

「そうだ、この町のフェスタの時期が今年も来たのだ」

昨年のおごろ、ここで、この光景をカメラに収めたことなどを思い出し、時の早さに、しばしの感慨。

今回は、バラングイ事務所まで行きプログラム（BARANGAI DAY 2012）を手に入れてみた。

4日間にわたるフェスタ期間の行事日程がびっしりと書かれている。

カラオケ大会、ビンゴゲーム、くじ引き等々、盛りだくさんの催しである。

そして、フィナーレを飾るのが、最終日・日曜日午後からの大パレード（Grand Parade）となる。

スタートは、この町を守るカトリック教会前広場。

そろいの衣装に身を包んだパレード隊は、10組以上か。

それぞれにブラスや鼓笛の楽隊がいて、これにバトンやダンサーのグループを引き連れる。

広場に集まった町内会面々の拍手喝采のなかに、練習してきたパフォーマンスを披露する。

そして、いよいよ町に繰り出した。

これを待ち受ける沿道の人々。出店も出揃い子供ははしゃぐ。ビールや食事を囲んでのパレード見物もあり。

この日、町中に、笑い声が響くフィリピンの人々の陽気な世界があった。